

博覧会協会における 予算執行状況について

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

2024年10月2日

運営費の執行状況について（2024年7月末）

（単位：億円）

執 行 項 目	契約済(2024年7月末)			今後の予定 ※1			総合計
	金額	前回報告以降の主な内容	前回比 (2024年6月末)	直近の発注予定額 (2024年8~10月)	主な内容	予定額 (2024年11月~)	
会場管理費	227		4	91		201	519
会場運営管理・来客対応費	96	カーボンニュートラルガス調達業務、国旗製作及び運営業務 ほか	3		会場内清掃業務、入場券システム改修（紙チケット対応）、ゲート前チケット案内所業務（紙チケット対応）、2025年度非化石電気の調達業務、バーチャル万博運営事務局業務、サイバーセキュリティ等運用業務、備蓄品・防災関連資機材費、医療スタッフ（救護隊）、屋外家具の発注、迎賓館運営業務、賓客車両運転手業務委託、QRコード認証機器端末調達、会場内スタッフ用携帯通信端末提供及び運用・保守業務、スタッフユニフォーム製作(看護師・医療・清掃スタッフ) ほか		
ICT関連費	131	関係者向けポータルサイト事務局業務、情報通信インフラ整備支援業務 ほか	1				
事業運営費	78		4	26		51	155
共創事業費	17	サステナドーム実施制作・運営管理業務 ほか	1		開会式及び主催者催事に係る実施計画・管理運営業務、催事開催にかかる制作協力業務、催事施設設備品調達、エネルギー見える化システム導入・運用・保守業務、サステナドーム実施制作・運営管理業務、公式参加者の内装監理支援業務 ほか		
テーマ事業費	40	—	—				
催事費	14	開会式・主催者催事に係る実施計画作成業務、イベント管理システム構築・運用保守業務 ほか	3				
住宅・公式参加国関係費	7	OSSに係る執務室事務所用什器調達 ほか	0				
営業関係費	37		4	21		37	95
広報宣伝費	12	メディア用ネットワーク構築・運用・保守業務、香港ブックフェア運営業務 ほか	1		チケット販売促進等のための広報・プロモーション事業、入場券システムコンタクトセンター、メディアセンター実施計画・運営業務、広報ツールの印刷及び配送、開幕直前期（半年前）イベント実施運営、メディアプラン業務 ほか		
入場券関係費	25	OOH等による入場チケット広報・プロモーション業務、メディアリレーションコーディネーター業務 ほか	3				
輸送管理費	125	夢洲第1交通ターミナル運行情報サイネージ等管理システムサービス提供業務（変更契約）、輸送対策協議会開催 ほか	2	5	船シャトルバス運行業務、P&R駐車場事務什器費、廃棄物収集・運搬業務、道路交通マネジメント効果検証 ほか	54	184
管理関係費	150	職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	3	8	職員手当・旅費、オフィス賃料 ほか	49	207
合 計	617		17	151		392	1,160

執行率(7月末)
53.2%

執行率(10月末)
66.2%

※1 今後の予定の内訳については現時点での計画額であり、今後執行過程において変わりうるもの
※2 一部、内訳端数調整有

会場建設費の執行状況について（2024年8月末）

（単位：億円）

執 行 項 目	契約済			今後の予定		合計
	金額	主な内容	前回比 (2024年5月末)	小計	主な内容	
大工区	1,097		+61			
PW北東工区	319		+ 2			
PW南東工区	275		+ 22			
PW西工区	311	・ 大屋根（リッパ）	+ 11		・ 会場安全対策等の軽微変更工事	
GW工区	142	・ パビリオンB、C	+ 0	192	・ 会場附帯施設整備	1,289
静けさの森工区等	29	・ 管理施設、ゲート施設等の整備	+ 5		・ 施設等維持補修	
会場附帯施設等整備	5	・ 附帯整備（各種サイン・舗装等）	+ 5		・ リニューアル対応	
会場施設等維持補修業務	16		+ 16		・ 会場舗装等撤去工事 他	
主要施設	277		+6			
大催事場	91		0			
小催事場	47	・ 各施設整備	0	14	・ 各施設の安全対策等の軽微変更工事	291
迎賓館	38		0			
テーマ館	53		+4			
若手建築家施設	48	・ サライトスタジオ、休憩所等(20棟)	+2			
土木工区	108	・ 園路基盤整備、水道引込 ・ 雨水管、污水管、給水管、 熱供給管、電気管路、通信管路	+ 1	26	・ 管路等撤去工事 他	134
インフラ設備 (電気・熱供給、通信、警備設備 等)	233	・ 電気(引込含)・熱供給・通信設備 ・ 水質改善設備 ・ 警備設備等	+7	30	・ 各施設等の附帯設備整備 ・ 各工事工程に伴う変更対応 他	263
交通施設	148	・ 会場外駐車場等整備、付帯設備 ・ 桜島駅乗降場整備 ・ 万博アクセスルート整備	+8	31	・ 会場外交通施設、 施設関係設備、周辺整備 他	179
環境評価、委託関係	58	・ 基本設計業務 ・ 環境影響評価業務 ・ プロジェクトマネジメント、コストマネジメント業務	+ 0	6	・ 現契約案件の継続追加業務 他 (プロジェクトマネジメント、コストマネジメント等)	64
合 計	1,921		+83	299		2,220
※「今後の予定」の支出の内訳については、現時点での計画額であり今後の執行過程において変更する場合があります。 ※一部、内訳端数調整有					予備費	130
■2,220億円の執行率： 86.5%					総 計	2,350

会場建設費で負担する予定の費用について

1 タイプXのC活用等、休憩所等整備

公式参加者の出展準備の進展を踏まえ、利活用を行うX棟や新たに生じた区画の整備を会場建設費で負担する

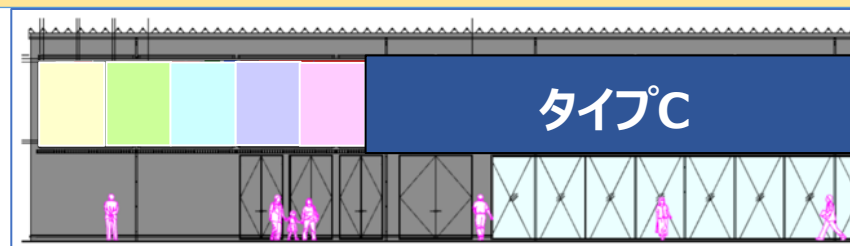
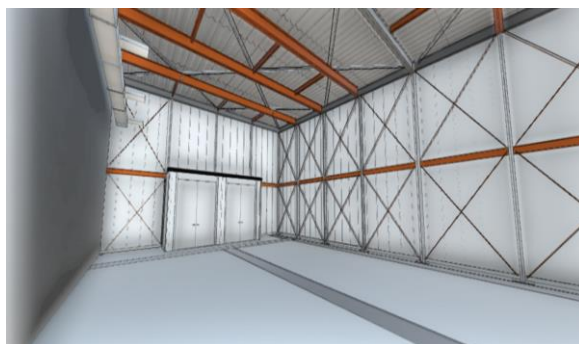
2 メタンガス対策

タイプXのC活用・休憩所活用について

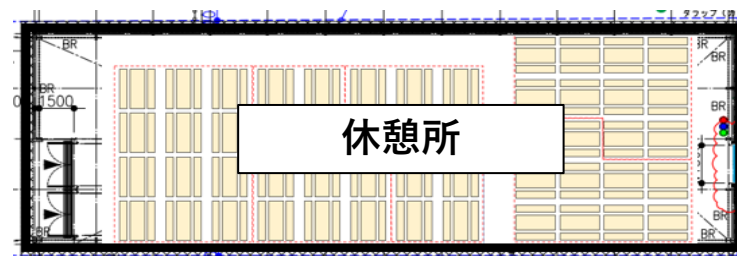
- タイプX 9棟のうち5棟は入居表明済であり完成後引渡予定。
 - 残る4棟について、2棟は「**タイプC移行国の入居受け皿**」として活用。
(1棟はタイプAからの最終受皿としてC整備を基本とし、公式参加者等のMTG・待機スペースとしても整備。)
- 1棟は「**休憩所**」、1棟は「**イベント会場 兼 休憩所**」としても活用できるよう整備し、資料展示のうえ「**校外学習**」としても活用。



〔X棟の外観・内観イメージ〕



外観はイメージ



イベント会場(未実施時には休憩所)

+



校外学習

メタンガス対策方針について

1. 空气中濃度等の常時測定と公表

会期中、ガス濃度測定を継続的に実施し、博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせする。来場者等がわかりやすい公表内容を検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）。

2. ハード面の安全対策

GW工区の施設は、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき、①機械換気設備、②検知器、③侵入抑制、④マンホール穴開け、⑤透水性舗装、を基本として、施設特性に応じた対策を実施。

PW工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて、必要な対策を実施。

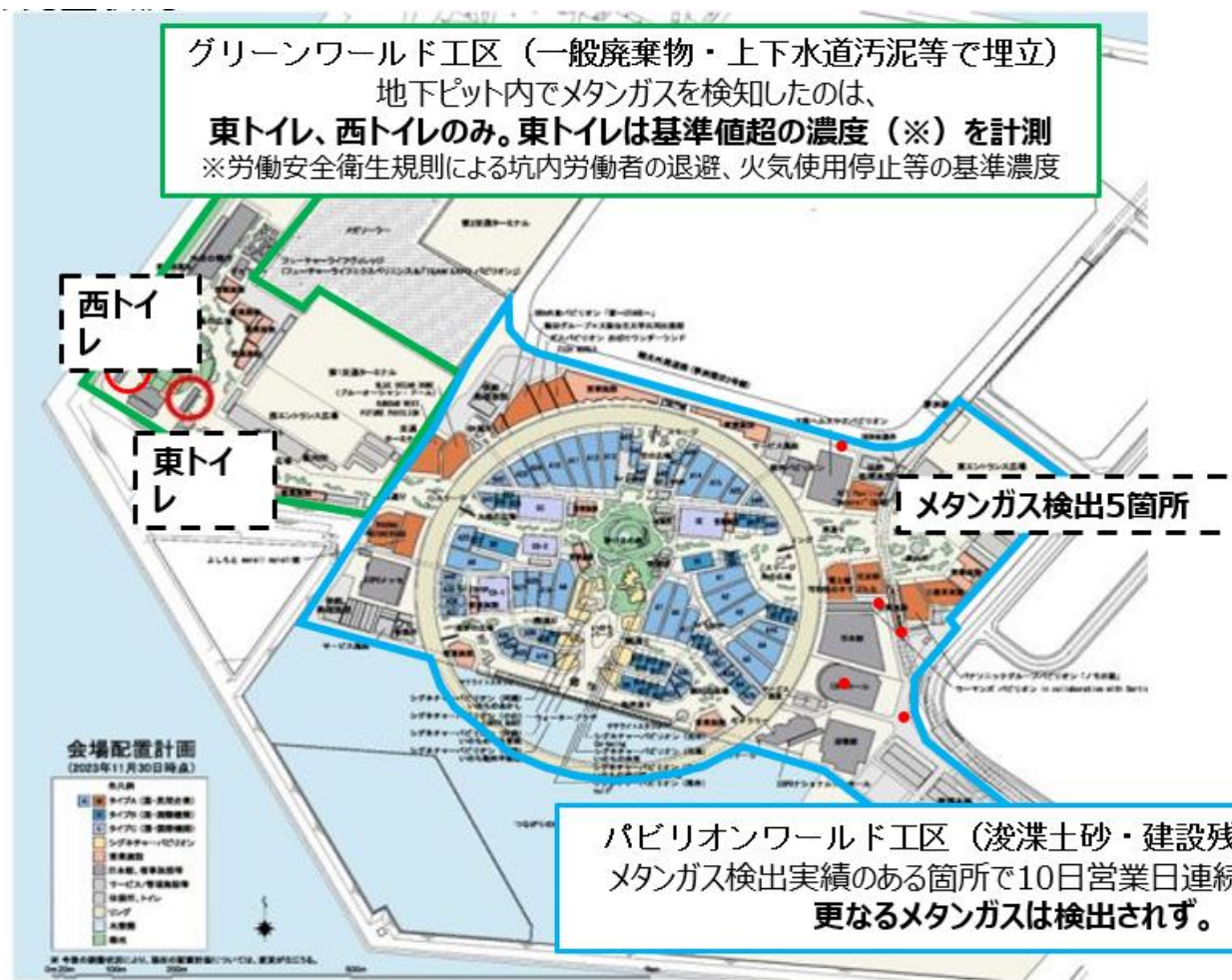
3. 各施設・事業におけるソフト面の対策

今後、専門家の指導の下、各施設管理者や事業実施者が、事業実施に際して措置すべき安全対策をまとめ、その確実な実施を確保していく。

メタンガス発生状況と会期中の測定方針

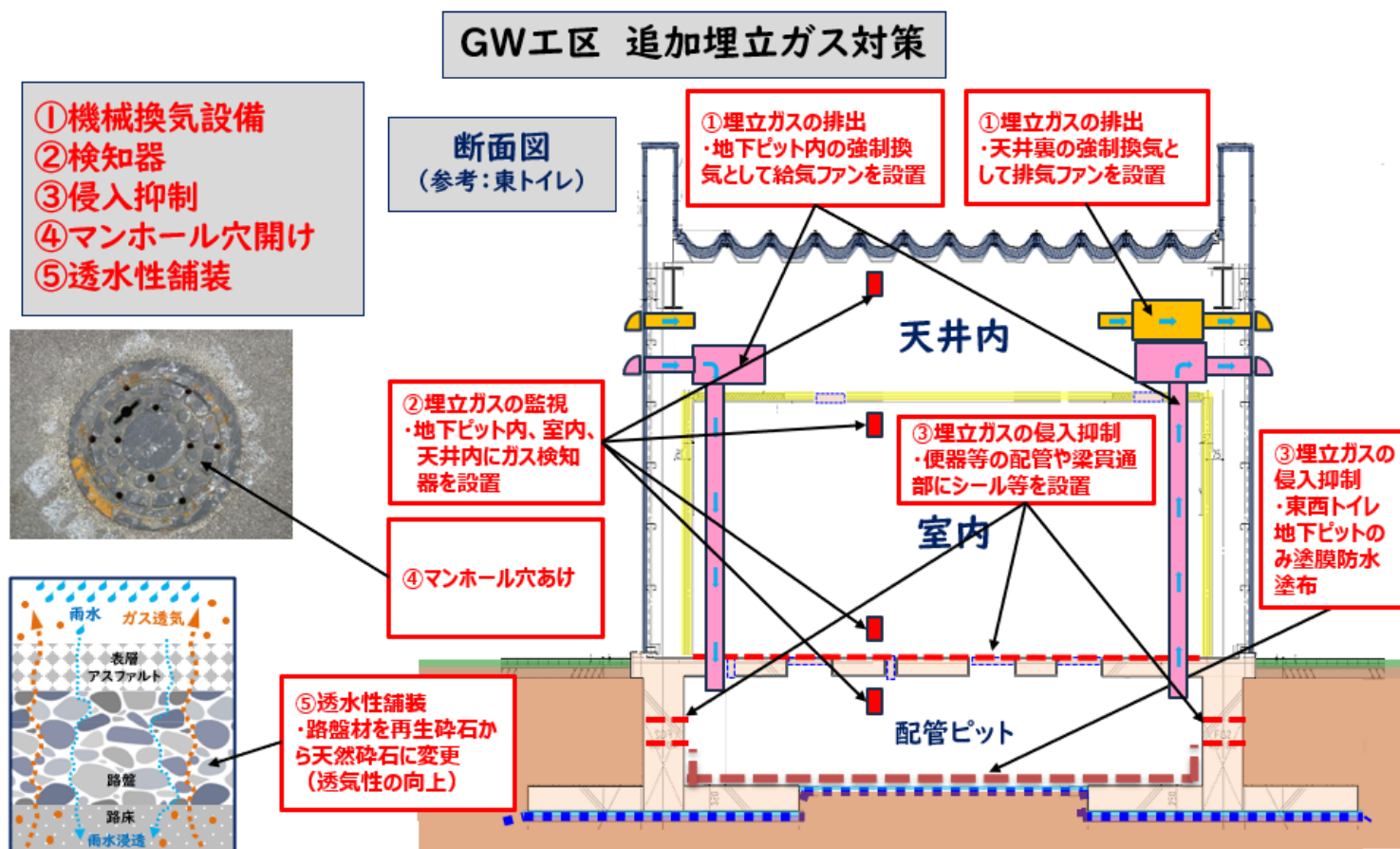
- 会期中、ガス濃度測定を継続的に実施し、博覧会協会HPにて、測定値を毎日お知らせする（会場全体をカバーするための検知場所や頻度等は今後検討）。来場者等がわかりやすい公表内容を検討（工事期間中も、測定結果を定期的に公表）。

メタンガス発生状況（2024年6月まで）



ハード面の対策方針

- GW工区の施設は、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき、①機械換気設備、②検知器、③侵入抑制、④マンホール穴開け、⑤透水性舗装、を基本とする。その際、地下ピットの有無、空間の開放度合い、施設面積等に応じて、換気設備や検知器を適切に配置するなど、施設特性に応じた対策を実施することで、メタンガス滞留リスクを抑止する建物構造にする。
- PW工区は、低濃度ガスが検知された地下鉄工事上部エリア、グリーンワールド工区近接エリアで、ガス濃度測定を重点的に実施し、その結果を踏まえて、必要な対策を実施。



ソフト面の対策方針

- 今後、専門家の指導の下、各施設管理者や事業実施者が、事業実施に際して措置すべき安全対策をマニュアル等にまとめ、その確実な実施を確保していく。

検討中の対策の柱

①ガス濃度測定結果の常時モニタリングと検証

②検知濃度の変化に応じた即応体制構築

③事業実施に際して措置すべき安全対策（マニュアル等）の整備

④運営スタッフの研修等による周知

GW工区における施設

協会（整備局）発注施設	
屋外イベント広場	ステージ棟
	楽屋棟
	FOH棟
	東西トイレ（2箇所）★
	エントランスゲート（2箇所）☆
営業施設	営業施設（西エントランス 西）
	営業施設（西エントランス 東）
	営業施設（GW 北）
	営業施設（GW 北東）
	営業施設（GW 東）★
	営業施設（GW 西）【トイレのみ】★
	営業施設（GW FLP）★
	お弁当広場日よけC（3箇所）☆
ゲート施設	西棟1・4
	西棟2・3 ★
	東棟1・2・3 ★
	東棟4
	西エントランス棟A
	西エントランス棟B（郵便局・宅配手荷物預かり）
	大屋根 ☆
	スタッフゲート☆
	ギャラリー
若手建築家対象施設	フューチャーライフヴィレッジ(FLV)
その他	モビリティエクスペリエンス格納庫

協会（整備局以外）発注施設	
第一交通ターミナル	管理運営施設棟
	待合上屋 ☆
第二交通ターミナル	管理運営施設棟
	来場者トイレ棟
	待合上屋 ☆
水上アクセス	来場者トイレ棟
未来の都市	
日除けパーゴラ（モビエク観覧用）☆	

協賛施設
営業施設（GW西）【本体】
物販棟（屋外イベント広場）☆
モビリティエクスペリエンス格納庫以外（旅客施設等）
サウナ
サステナドーム
バス停（風の広場）☆
日除けテント（風の広場）☆
管理運営施設棟（水上アクセス）
待合施設棟（水上アクセス）

★は地下ピットのある施設（地下ピットにも機械換気設備・検知器設置）

☆は開放施設であり、ハード対策実施無し

チケット販売促進のための具体的取組み①

(1) 電子チケット購入に係るシステム改善

(7月24日から、万博IDログインにあたっての本人確認の仕組みを簡素化)

(2) 営業企画の実施

- ・**前売り券の特典**として、6月、8月に続いて**3回目のくじ抽選を10月に実施予定**
- ・会期内イベント主催者や会期中日本で開催されるMICE団体へのチケット購入働きかけ
- ・集客力のある施設や大規模イベントなどのチケットとの連携の検討
- ・福利厚生サービス提供企業を活用した官公庁職員等へのチケット販売誘惑
- ・**インバウンド向けのチケット販売チャネルの拡大**

(3) 広報・プロモーション（次回機運醸成委員会（10月上旬）で詳細を議論予定）

- ・**新たなパンフレット**を8月から広く配布開始（多言語版は9月上旬から順次配布）
- ・**電通グループと連携した本格的SNSチームが始動**。9月以降多数見込まれるパビリオンやイベントなどに関するプレスリリース（9月3日イベントスケジュールのさらなる発表、追加の個別イベント情報も順次発表中。超早割特別抽選の対象となるパビリオン・イベントも公表済み）を**SNSやHPでタイムリーに発信**
- ・**超早割 1 日券販売終了前に駆け込みでチケット購入を促す広報の実施**

チケット販売促進のための具体的取組み②

(3) 広報・プロモーション（前項からの続き）

- ・10月上旬から、**新キービジュアル・新キャッチコピー**にて、**ポスター・サイネージ・デジタル広告・テレビCM**などで積極発信
- ・**開幕半年前の10月13日にあわせて各種イベント開催**。東京では、主としてメディア向けイベントを開催し、来場日時予約開始やパビリオン・イベント紹介などを通じて話題性追求
- ・10月から来年3月にかけて、**各地でキャラバンを実施**
- ・**インバウンド**についても、**各国・地域での主要な旅行博や日本イベント等での露出を拡大**

(4) 紙チケットの販売

- ・**新たなマーケット**（スマホに慣れない層、気軽にチケットを買いたい層、チケットを誰かにプレゼントしたい層）を掘り起こし、**Web販売の想定枚数の実現を補完**
- ・原則10月13日から旅行会社やコンビニ等で販売
予定（9月27日公表済：コンビニでの来場日時指定がある引換券は、一か月分まとめて10月末から販売開始となる見込み）

(5) チケット販売・予約に係るサポート充実

- ・大阪府市にて、9月17日から来年10月13日（予定）まで、**チケット購入・来場日時予約等の支援**を行うとともに、**パビリオンやイベント等の情報発信を行うサポートデスクを設置**
- ・協会においても、**スタッフ研修や配布資料・販売業者の連携**などに関する協力を行う